



報道関係各位

2019年11月5日
W20 運営委員会

～女性に関する政策提言を G20 に向けて行う W20～
W20 運営委員会は G20 観光大臣会合で採択された
ジェンダー平等の取り組みを強く支持します



W20 より安倍首相への手交の様子
(2019年3月)

G20 のエンゲージメント・グループのひとつであり、女性に関する政策提言を G20 に向けて行う W20 運営委員会は「G20 観光大臣会合 (10 月 25～26 日、北海道虻田郡倶知安町にて開催)」において採択された「北海道倶知安」及び同宣言の附属書 1「観光分野における女性活躍推進に向けた行動メニュー」に、ジェンダー主流化の考え方に合致する種々の事項が含まれていることを歓迎し、ここに強い支持を表明いたします。

「北海道倶知安宣言」において、G20 観光大臣が想起することとして次の記述があります。

11. 観光は、女性、若者、障害者、移民、先住民の人々や部族の人々、地方の人々など、そしてそれらにかぎらず社会的、経済的リスクに対してより弱い立場にある人々を、経済的に力づけ、雇用創出を促進する潜在性を持ち、社会的包摂を牽引する力となる。

12. 観光は、参入障壁が低いことから、その多くが中小企業からなる分野であり、若年・女性起業家に大きな機会を与えると同時に、中小企業や新興企業がバリュー・チェーンに統合される大きな機会を与える

また、G20 観光大臣が以下の事項を合意している旨も記されています。

28. イノベーションを促進し、持続可能な企業を創出し、とりわけ女性や若者に対する質の高い雇用の創出を促進するような人的資本の発展と包括的な労働市場を促進する施策を奨励する

これらの趣旨は W20 が本年 3 月に作成し、安倍晋三内閣総理大臣に手交した提言と一致いたします。W20 の提言は、6 月の G20 大阪首脳宣言にジェンダー平等の実現に向けた多くの項目を盛り込む流れを作り出すことができました。W20 運営委員会は、北海道倶知安宣言と附属書 1 が、一連のジェンダー主流化を後押しするものであると考え、賛意をここに表明いたします。

特に、附属書 1 として採択された「観光分野における女性活躍推進に向けた行動メニュー」は、これまでの G20 におけるジェンダーに関する合意や宣言を踏まえ、具体的な行動計画を盛り込んだものとなっていることが特筆されます。

例えば、G20 のブリスベン合意（2014 年）や G20 大阪首脳宣言（2019 年）のジェンダー平等の実現に向けた項目に言及した上で、国際労働機関（ILO）、経済協力開発機構（OECD）等の国際機関が発行した文書に準拠する形で具体的な行動計画が盛り込まれ、さらに W20 が提言してきた「雇用」「起業」「教育」「リーダーシップ」等の内容も幅広く含まれています。

W20 は、今後も G20 各国によるジェンダー平等の実現に向けた強いリーダーシップの発揮とコミットメントの実施に向けた行動が継続されることを期待いたします。

<参考資料>

*W20 とは

W20 とは、G20 のエンゲージメント・グループのひとつであり、女性に関する政策提言を G20 に向けて行う組織体です。W20 が 3 月 23 日に安倍総理に手交した提言書は「労働」「デジタル」「金融」「ガバナンス」の 4 本柱から構成されています。

https://w20japan.org/pdf/w20_communique_jp.pdf

*G20 大阪首脳宣言は、こちらの公式サイトに日本語仮訳が掲載されており、22～23 段落目は「女性のエンパワーメント」に関する記述が明記されています。

https://g20.org/jp/documents/final_g20_osaka_leaders_declaration.html

また、附属文書として「女性労働参画報告書」が発表されています。

https://g20.org/pdf/documents/jp/annex_09.pdf

*G20 観光大臣会合で採択された「北海道倶知安宣言」の仮訳はこちらです。

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001314848.pdf>

附属書 1 「観光分野における女性活躍推進に向けた行動メニュー」はこちらから仮訳を読むことができます。

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001314869.pdf>

<お問い合わせ>
W20 運営委員会事務局
w20japan@w20japan.com